

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
あまちょう 海士町	平成19年～平成23年

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
産業創出課	08514-2-1832	08514-2-0358	ougidani-masahiro@town.ama.shimane.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標		増加率等	増加率等の算出
交流人口の増加		144.44%	$\begin{aligned} & \text{計画区域における交流人口の増加(\%)} = \text{計画期間内の計画区域外からの入込} \\ & \text{客数(人)(目標)} \div \text{計画期間前の計画区域外からの入込客数(人)(現状)} \times 100 - 100 \\ & = (900\text{人(H19)} + 1,000\text{人(H20)} + 1,100\text{人(H21)} + 1,200\text{人(H22)} + 1,300\text{人(H23)}) \\ & \div (900\text{人(H18)} + 400\text{人(H17)} + 350\text{人(H16)} + 320\text{人(H15)} + 280\text{人(H14)}) \times 100 - 100 \\ & = 146.67\% \end{aligned}$
事業活用活性化計画目標の設定根拠			
<p>・平成14年～平成18年度の入込客数は海士町交流促進課が毎年度実施している観光客入り込み数調査から把握している数値。</p> <p>・平成19年～平成23年度の目標入込客数は、これまで整備してきた類似の施設での増減率等から算出したものであり、年平均1,100人と算出された。また、計画期間を5年とし、平成19年度から評価を実施する。交流人口の増加は年々伸びるものと設定。その結果、H19(900人)、H20(1,000人)、H21(1,100人)、H22(1,200人)、H23(1,300人)とする。</p>			
事業活用活性化計画目標		増加率等	増加率等の算出
地域産物の販売量の増加		142.95%	$\begin{aligned} & \text{計画区域において生産された農林水産物の販売量の増加(\%)} = (\text{計画期間内の地域産の農} \\ & \text{林水産物の販売量(t)(目標)} \div \text{計画期間前の地域産の農林水産物の販売量(t)(現状)}) \times \\ & 100 - 100 \\ & = (52\text{t(H19)} + 57\text{t(H20)} + 61\text{t(H21)} + 86\text{t(H22)} + 106\text{t(H23)}) \div (15\text{t(H14)} + 22\text{t(H15)} + 2 \\ & 9\text{t(H16)} + 35\text{t(H17)} + 48\text{t(H18)}) \times 100 - 100 = 142.95\% \end{aligned}$
事業活用活性化計画目標の設定根拠			
<p>実施期間を5年とし、全ての施設整備が完了する平成21年度から評価を実施する。</p> <p>・平成14～平成18年度の販売量は、海士町漁協の出荷売上傳票から集計した数値。</p> <p>・平成19～平成23年度の目標数値は、これまで他地域で類似の施設を整備した際の増減率から算出した数値。</p> <p>なお、本数値には施設整備によりこれから特産品化される品目である以下に示す目標値も増加率の算出に反映させている。</p> <p>※干しナマコ製造量:平成21年度→0.6t 平成22年度→0.75t 平成23年度→0.9t ※梅干し生産量:平成22年度→10t 平成23年度→15t</p> <p>※ふくぎ茶(クロモジ茶)製造量 平成23年度→0.5t</p>			

Ⅲ 優先枠を活用する事業に関する事項

(交付対象事業別概要)

優先枠の種類	優先枠指標	増加率等		増加率等の算出
1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠 2 農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠	該当なし			
優先枠指標の設定根拠				
事業メニュー名	地区名	事業内容と優先枠指標との関連性		
優先枠の種類	優先枠指標	増加率等		増加率等の算出
1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠 2 農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠				
優先枠成果指標の設定根拠				
事業メニュー名	地区名	事業内容と優先枠指標との関連性		

